

将来の産業社会の基盤を支える科学 技術系大学院生のための教育改革 —大学院教育の「見える化」による改革の推進—

平成22年 1月27日

総合科学技術会議 基本政策専門調査会

検討の背景

背景となる社会状況変化

- 産業界では技術の統合による高度化が加速
- 少子化による生産人口の急速な減少

課題

- プロジェクトリーダーとして活躍できる中核的な人材の輩出
- 技術の高度化に対応できる幅広い基礎学力を修得した大学院修了者の育成
- 大学院と産業界間での大学院修了者の期待される人材像についての合意形成

各大学の独自性発揮を促すとともに、グローバル化に対応した、大学院教育の質の充実、抜本的強化に国を挙げて取り組む必要

本ワーキング・グループは、特に広く産業界において国際的に通用する能力・知識などを十分に備えた、高度科学技術人材を育成するための課題解決を目指した方策について検討

今後の展開(課題解決を目指して)

- 大学院教育の充実に向けた改革は、「実行」が加速される時
- 多様化された各大学院の教育の「見える化」の推進は、各大学の責務
- 課題解決には、政策の一体的推進が必要

〔提言〕

総合科学技術会議として取り組むべきこと

- 「産学官の相互理解を深める常置体制」の新たな構築
 - 大学院、文部科学省、産業界等が情報交換し相互理解を深め、共通理解を得る場の構築
 - 「共通プラットフォーム」(大学院教育に関する情報を俯瞰する仕組み)の情報をもとに、施策の進捗状況の確認と、検討・提言

今後の展開(課題解決を目指して)

文部科学省に対して

- **大学院教育改革への誘導政策と、その進展状況の検証、公表及び「共通プラットフォーム(大学院教育に関する情報を俯瞰する仕組み)」の構築**
 - － 各大学の特徴を生かした教育改革を誘導できる政策の促進
 - － 大学院教育改革の進展状況の検証と公表
 - － 大学院教育に関する情報に関し、俯瞰的「共通プラットフォーム」の構築
- **「国際的通用性」をもった「体系的カリキュラム」の構築の加速**
 - － 体系的カリキュラム構築の検証とその結果の公表
 - － 競争的経費の充実、成果の普及・展開
- **学生の社会的自立を促す経済支援の充実**
 - － TA制度等、大学院生の自立的な研究活動の活性化に資する支援制度の充実
- **教員の教育活動の充実強化及びその努力、成果の適切な評価**
 - － 教員の教育活動に関する適切な評価手法などの在り方の検討
 - － 大学院教育の実習の場としてのTAの制度的位置づけの明確化の検討
- **大学院修了者の「質の保証」システムと達成度評価等の公表**
 - － 国際的通用性・信頼性をもった大学院修了者の質を保証するシステムの構築を検討
 - － カリキュラム等の教育内容・プロセス、修了者の到達度評価等 について情報発信
 - － 「国際的通用性」の視点による博士号取得基準の公表

今後の展開(課題解決を目指して)

〔大学院・産業界・学生に期待すること(所見)〕

(大学院に期待すること)

- 自らの教育改革と教育の質の確保(入学選抜・修了認定の適正化)
- 大学院教育に関する情報の発信
- 「国際的通用性」をもった「体系的カリキュラム」の構築の加速
- 組織の責任の下でのキャリア支援
- 学生の自立を促す大学独自の経済的支援の充実
- 教員の教育活動の充実とその適切な評価の実施
- 「国際的通用性」をもった大学院修了者の質保証への取り組み

(産業界に期待すること)

- 産業界のニーズを踏まえたカリキュラムの充実支援
- 大学院修了者に求める資質・能力にかかる情報発信
- 学生に対する経済的支援の促進
- 学生の自立を促すキャリア支援への協力と就職活動における大学院教育への配慮

(学生に期待すること)

- 将来の自分の進路を見据え、明確な目的意識を持って進学すること
- 自らの資質・能力を磨き、自らの進路を切り開き、社会的な自立を果たすこと